



体側中央の縦条が特徴だが、成熟したオスは縦条が不明瞭になる。福井市産 全長：約9cm

コイ科 モツゴ属

【全長】9cm

モツゴ

学名：*Pseudorasbora parva*

分布域

全国に分布するが関東地方以北は移入されたものとされる。

生息域

河川の中流域や農業用水路・湖沼などに広く生息する。



若魚は体側の縦条が明瞭。福井市産。

体側中央には吻端～尾鰭基底まで1本の縦条が走る。頭部が小さく吻は尖る。口は吻端にあり小さくおちよぼ口。口髭はない。食性は雑食性で底生動物・水生昆虫や付着藻類などを食べる。産卵期は5～7月。オスが転石の側面などを口で掃除し産卵床(壁)を造る。オスは産卵床を中心に縄張りを形成し、メスを誘い産卵させる。産卵後もオスは産卵床や卵を保護する。この時期のオスは体色が黒化し、縦条が薄くなる婚姻色を示す。吻には追星が現れる。産卵期に10回以上の産卵行動を行う。

水槽での飼育は容易。餌は配合飼料にも慣れる。比較的丈夫で性格も温和。他種との混泳にも問題はない。

在来種

純淡水魚

※ 福井県内では生息地・生息数とも比較的多く普通種といえるが、近年は生息地・生息数共に減少傾向にあると感じる。コンクリート護岸の水路から河川・湖沼まで比較的の生息環境は広い。